

東京都個人タクシー協会 会報

乗って安心個人タクシー



平成24年
2月号

平成24年新年賀詞交歓会

いったん気持ちをリセットして 目の前の目標を見据えよう

1月19日(木)午後4時から、ホテルグランドパレス「白樺の間」で、平成24年新年賀詞交歓会が開催されました。その冒頭で行われた木村会長と来賓の方々のご挨拶をご紹介します。

東京の1万6000人の
事業者が一丸となって
現状の打開を目指す

(社)東京都個人タクシー協会会長

木村忠義



景気の低迷に東日本大震災が追い打ちをかけた昨年、

個人タクシーにとつては、JRを巻き込んだ事故の発生、不適正営業が社会問題になるなど、厳しい風が吹いた年でした。今年は昨年の教訓を忘れず、一方で気持ちをリセットし、1万6000人が力を合わせて前進するしかありません。法人業界とも力を合わせ、関係各位のご協力をいただきながら、一歩ずつ現状を打開していきたいと思っております。

1%の不適正事業者に
負けない取り組みで
業界の信頼回復に期待

国土交通省関東運輸局長

神谷俊広氏



昨年から原発事故、電力不足、円高世界的な不況が我が国を襲っています。そんな中、個人タクシー業界は1万人の全員集会を敢行され、さらに構造改善計画の一環として3月に「接客マナープレコンテスト」を実施されるとのこと。1%の不適正事業者が全体の評価を落としているのが現状ですが、これらの取り組みを進めることで、業界全体が安心・安心の評価を取り戻されるよう期待しています。

チャレンジアンダー200に
引き続きご協力を

警視庁交通部交通総務課課長

伊藤隆行氏



昨年、警視庁では交通事故連続減少・交通事故死者数

「チャレンジアンダー200」を掲げ、関係機関・団体とともに取り組んでまいりました。死者数こそ215人と達成はなりませんでしたが、皆さまのご協力により、発生件数と負傷者数は11年連続で減少しております。引き続きご協力をお願いするとともに、本年より取り組みを始める「自転車総合対策」へのご協力もよろしくお願いいたします。

次の100年に向けて 業界の正常化を実現したい

(社)東京乗用旅客自動車協会会長

富田昌孝氏



法人タクシーの売り上げは30年前の水準に落ち込み、乗務員は

非常な苦勞を強いられています。需要に合わせたタクシー台数にするため、法人業界では6000台の減休車を行いました。また明確な効果が見えていないのが現状です。しかし、今年にはタクシー生誕100年。行政のお力添えをいただきながら、個人タクシーと力を合わせ、次の100年に向けて業界の正常化を実現したいと思っております。

都内個人タクシーの現状 (平成24年1月1日現在)

許可事業者数	16,337名	(前月比-50名)		
(特別区、武三)	15,863名		北多摩183名	南多摩291名
傘下事業者数	16,119名	(前月比-47名)		
(特別区、武三)	15,648名		北多摩182名	南多摩289名

平成23年度協会会長表彰

普通のことを普通に……を心がけて

1月19日(木)に開催された新年賀詞交歓会の席で「平成23年度東京都個人タクシー協会会長表彰」が行われ、代表者が木村会長から表彰状を授与されました。



木村会長より表彰を受ける山下さん

個人タクシー事業者としての社会的使命を自覚し、長年にわたって模範的な営業を続けてきた事業者を顕彰する「協会会長表彰」。毎年、新年賀詞交歓会の席で表彰式が行われますが、今年も57名が受賞し、都営協・新中野支部の山下和規さんが代表して表彰状と副賞を受け取りました。山下さんによると「個人タクシー事業者になって約10年。これといって心がけていることはなく、毎日、普通のことを普通にやっているだけです」とのこと。この「普通」の積み重ねこそ、今、個人タクシー業界が求められていることなのかもしれません。

交通被害者援護賛助金を贈呈

毎年恒例となっておりますが、本年も新年賀詞交歓会の席で、(社)東京都個人タクシー協会から(財)交通遺児等育成基金へ賛助金が贈呈されました。それを受けて自動車事故対策機構東京主管支所の石橋廣支所長を通じて協会に、財団の活動への理解と援護に対する感謝状が贈られました。



石橋支部長から感謝状をいただく木村会長。この基金は自動車事故で家族を失った子供たちを19歳まで支援する制度です。多くの子供の生活が保障されます

第6回 理事会の焦点

地味な努力を続けることで 私たち自らが明るい未来を開く年に

■議題 ①「意見交換会」(関東支部主催)に関する意見・要望事項に関する件

②接客マナー・プレコンテスト(準本選会)の実施に関する件

1月19日(木)午後2時30分から、ホテルグランドパレス3階「牡丹の間」において、平成24年最初となる第6回理事会が開催されました。さわめて厳しい環境下にあった昨年を振り返るとともに、新たな年に向けて、木村会長から以下のような挨拶がありました。

「あけましておめでとうございませす。残念ながら、昨年は芳しくない事態がいくつも起きました。一つはJRを巻き込んだ事故で、事業者の高齢化とその健康管理問題に社会的な注目が集まることになりました。今こそ一丸となって、個人タクシーは安全・安心」との評価をいただかないと、社会の風圧をはね返すことはできません。そこで都個協としては、高齢事業者を対象とした講習会の実施等を検討しており、再発防止に全力を挙げて取り組んでまいります。一方、銀座・六本木地区における不適正



「今年は明るい兆しを自ら作っていかう」と挨拶する木村会長

はあっても社会的に意義ある活動もアピールしていきたいものです。平成24年も大変な年になるかもしれませんが、努力を続けることによって、私たちが明るい未来を開く年にしていきたいと思っております。どうか今年も、よろしく願っています」

続いて行われた議題審議において、2件の議題が原案通り可決承認されました。

「個人タクシー利用者感謝の日」キャンペーン

お客様に感謝の気持ちをお伝えし、さらなるサービス向上を目指して

毎年恒例となった「個人タクシー利用者感謝の日」キャンペーンが、昨年12月1日から21日の3週間にわたって行われましたが、1月19日にその抽選会が行われました。

「サービス向上推進運動」の一環として行われる「個人タクシー利用者感謝の日」キャンペーンは、お客様に日ごろのご愛顧に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、マスター制度のPRを目的としたイベントです。今回はさらに、賞品を東北旅行や東北の特産品とするなど、東日本大震災の復興支援に協力する当協会の強い意思も折り込まれています。期間中は1万7000人のマスターズ制度参加者が協力して、応募ハガキを配布しました。



たくさんの応募ハガキから1枚を慎重に選ぶ木村会長

応募総数は1万2622通。理事会開催後の午後3時30分から「牡丹の間」で抽選会が行われました。会長・副会長はじめ関東支部の副支部長、各県協会会長などが応募ハガキであふれた大きな抽選箱に手を差し入れ、次々にハガキを取り出しました。当選者の氏名とともに、当選者をお乗せした事業者の名前と支部名が読み上げられるたびに同席した理事から歓声上がるなど、和気あいあいとした雰囲気の中に、「マスター賞」15組と「ふたつ星賞」4名の当選が決まりました。後日行われた事務局による抽選とあわせて、715名のお客さまと415名の事業者の当選が決まっています。業界に逆風が吹き荒れた昨年ですが、個人タクシーの社会的信頼を回復するには、安心・安全・快適の基本を繰り返すことが、遠いようでも

実は一番の近道。マスターズ制度はその強力な手段ですが、それもお客様に広く認知されなければ意味がありません。1万2622通のご応募という現実を重く受け止め、次回も全事業者が一丸となって取り組みましょう。

キャンペーン応募状況

応募方法	東京都	他地域	合計
応募用紙	9,069名	2,410名	11,479名
普通ハガキ	921名	222名	1,143名
合計	9,990名	2,632名	12,622名

■当選賞品と当選者数（お客様）

- ★マスター賞 有名旅館宿泊プラン
 - 岩手県 10万円相当 5組
 - 宮城県 8万5千円相当 5組
 - 福島県 7万6千円相当 5組
- ★ふたつ星賞 東北3県特産品
 - 1万円相当 20名
 - 5千円相当 30名
 - 3千円相当 50名
- ★ひとつつ星賞 クオカード600名

計報

*12月

氏名	所属団体	享年	病名
松田 達	東個協・江戸川第一	71歳	不明
深田登志夫	東個協・品川第二	60歳	肝臓癌
嶋村友三	東個協・新宿	65歳	脳出血
齊藤道夫	東個協・世田谷第一	69歳	脳出血
村井輝彦	東個協・中野	72歳	脳症
芝田憲一	東個協・文京第二	64歳	静脈瘤破裂
安部和典	東個協・墨田	64歳	不明
川崎高和	都営協・東陽	62歳	胃痛
船越 孝	都営協・個団連(西北)	67歳	肺癌
中村直道	都営協・第一事業団	57歳	不明

ご冥福をお祈り申し上げます



健康管理促進ポスター
健康診断の全員受診を目指します。

道路交通法違反集計結果

平成23年12月1日付期限更新者の直近1年間の集計

平成23年12月1日付期限更新者の道路交通法違反集計結果がまとまりました。今回の対象者は3909名で、過去1年間の調査で1271名(32.5%)が違反し、133名(3.4%)が免許停止を受けておりました。

違反種別件数を見ると、ワースト1は毎回同様で速度超過違反の321件であり全体の20%を占めています。その内訳で特に、違反点数12点の速度超過50km以上が16件、6点の30km(高速40km)以上50km未満の29件が目立ちます。安全運転になお一層心掛けてください。

●違反者の違反回数

1回	1,001名
2回	218名
3回	47名
4回	3名
5回	1名
6回	1名

●違反種別ワースト5

1位	速度超過 321件 (20.0%)
2位	通行禁止違反 219件 (13.7%)
3位	信号無視 189件 (11.8%)
4位	指定横断等禁止違反 136件 (8.5%)
5位	駐停車違反 133件 (8.3%)

●免許件数

30日 (29)	81件
60日 (30)	33件
60日 (0)	1件
90日 (45)	15件
90日 (39)	1件
90日 (0)	1件
120日 (60)	1件
180日 (80)	4件

※()内の日数は短縮日数です

地理モニター報告⑪

新施設

名称	概要	所在地	開始日
ソラリア西鉄ホテル銀座	西日本鉄道株式会社における宿泊主体型アップグレードホテル第1号店	中央区銀座4-9-2	平成23年9月

道路・橋等

名称	概要	変更日
東京都市計画道路補助第72号線(新大久保駅前～高田馬場駅前)	環状線の慢性的な渋滞緩和や、地域間のスムーズな移動を目的として、平成11年には、諏訪通りと大久保そよかぜ橋間が開通し、今回、新大久保駅前と高田馬場駅前が1本の道でつながった。 2011地図 P123-H-7～H-8	平成23年11月

東京ぐるり

支部紹介 ● 第40回

東京都個人タクシー協同組合 世田谷第三支部 (所在地:世田谷区桜丘)

事故減少を目指し 積極的に対策を実施中

「和と団結」がモットーの世田谷第三支部。機関誌「せたさん」は32年続き、事故防止対策として健康管理のアドバイスと交通事故受刑者の反省文、贈いの日々を掲載。意識向上に努めてきました。本年度は事故が増え、新たに安全運転ステッカーを作成。ダッシュボードやハンドルに貼り付けるステッカーは、乗務中に交通安全への意識を何度も確認できます。また、事故多発の支部員に対しては必ず一声かけ、報告書は偽りがなく共済部長が指導も。「支部員のために事故という無駄な時間をなくしたい」と森支部長の想いを代弁する中山副支部長。事故減少を目指し支部一体となって取り組んでいます。



前列左から小笠原副支部長、馬場理事、大草理事
後列左から杉浦理事、森支部長、中山副支部長
小笠原副支部長は日頃の功績が評価され世田谷税務署長賞を授与されました



交通事故対策として
独自に作成した
"安全運転ステッカー"。
効果に期待

明るく支部を支える
事務員の皆さん



皆様ご存知の「交通共済のマーク」は支部員の安田一郎さんのデザイン。他にも世田谷美術館の絵画展入賞や支部発行機関誌「せたさん」の表紙を飾る腕前です

なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

ひと際目立つ愛車のガリユ

大草理事は50年代のロールスロイスの型を模した高級感漂う光岡自動車製の「ガリユ」に乗車して8年。お客様から「優越感に浸れる」と評判は上々です。「これからも愛されるタクシーを目指して乗務します」と大草理事。

